

< 国税庁長官賞 >

納税の義務

南相馬市立小高中学校

2年 大谷 陽奈

納税の義務は、国民の三大義務の一つです。税を払うのはあたりまえだけれど、私達には少し遠く知識もうすいものでした。しかし、調べてみれば、意外に近い存在ということがわかりました。

私が税金を身近に感じた出来事は、今から6年前に起きた東日本大震災です。その時、私は小学1年生で税金の事も全く知りませんでした。しかし、今考えると、私達が今の様な福島に復興する事ができたのも、税金が大きく関わっているという事がわかりました。

私の住んでいる福島県南相馬市では、震災の影響で、家を失ったり、道路がこわれて通れなくなってしまうという事がとても多くありました。その時税金で家を失った人の為に仮設住宅が建てられました。できる前は体育館で生活をし、ストレスがとてもたくさんたまっていました。仮設住宅は、広くてすごい快適というわけではなかったけど、家族だけで暮らせる場所ができ、とてもうれしかったのを今でもハッキリおぼえています。そしてボロボロになった道路や、海の方から流されてきたガレキの撤去にも税金が使われました。

福島には、地震や津波の他に原発事故がおき、放射線の影響で元の家にも入れないような状況が長く続きました。私達が帰れるように、たくさんの除染作業員を税金で雇い、復興を進めました。

そして、今、税金のおかげで除染作業が終り、南相馬市で快適に暮らせるようになりました。しかし、南相馬市の山の方にある小高区に帰るとなると、学校を直したり、区

役所を直さないといけませんでした。修理にかかるお金も税金でまかなわれています。

ついに、今年、仮設校舎から小高にある本校に戻れたのです。ここまで戻るには、たくさんのお金を使い、たくさんの人に助けられました。税金は、災害に多く使われます。私達一人ひとりがきちんと税金を納めることでどこかで災害がおきた時や、新しい公共の物を作るのに使うことができます。私は、東日本大震災を経験し、税金の大切さを知ることができました。

私は、テレビのニュースで滞納をしている人がいることを知りました。日本では、国民の三大義務の一つなのに、払わない人がいると、その分災害などに使える税金が減っていきます。いつか、自分が災害などにまきこまれた時、税金がないとみんな困ると思います。

私は、税金を納めることで、どこかの困っている人を助けていると考えています。みなさんも、困っている人を助けたり、住みよい日本にするために、ルールを守り、しっかり税金を納めましょう。そして、税金を納めない人を厳しく取りしめ、国民全員が税金を納めるようにしていきましょう。